



2023JR総連春闘勝利！
刀谷さん共に、全国の仲間と連帯して闘おう！
大きな成果を確認し、さらなる組織拡大を目指そう！

第28回定期地本委員会開催！

スローガン

一、組織拡大実現！

刀谷栄治さんの勇気と怒りを共有して、さらなる組織拡大を目指し、組織の未来を切り開こう！

一、2023JR総連春闘を職場から闘おう！

一、憲法改悪阻止！

平和を希求する仲間を職場と地域から拡大しよう！

一、リニア建設反対！

「業務改革」と「グループビジョン2032」による労働条件改悪を許さず闘おう！

一、「54歳原則出向制度」を悪用した組織破壊攻撃粉碎！

JR職場と出向先職場、OBが一体となって東海労運動を強化・拡大しよう！

2月26日、第28回地本委員会を東海労本部から畑野副委員、本橋書記長、山内総務部長を来賓に迎え地本委員、OB会、傍聴の組合員の参加のもと開催しました。

2023JR総連春闘では基本給の全組合員一律10,000円の引き上げと基準昇給額を6,000円要求、夏季手当については3.5ヶ月、専任社員については、プラス5万円の支給をすることを要求して闘っています。

笹田委員長からは、刀谷さんが東海労に加入された。勇気ある決断である。全組合員と共に闘っていく。東海ユニオンの要求はベア3,000円夏季手当2.7ヶ月の要求、何処に目を向けているのか。東海労は満額回答を求めると力強く挨拶がありました。

会社は、「業務改革」と「グループビジョン2032」を打ち出しましたが、これらは労働条件の改悪以外の何ものでもありません。私たちは反対の意思を明確にし闘っていきます。

**知力、体力、諦めない力を職場、
地域から発揮しあらゆる組織
破壊攻撃を粉碎する！！**



※裏面に「委員会宣言」

委員会宣言

本日、私たちは新大阪丸ビルにおいて第28回定期地本委員会を開催し、2023 JR総連春闘をはじめとした当面する具体的な闘いを満場一致で確立した。

我がJR東海労は1991年の結成以来、常に組織破壊攻撃に曝されてきた。そして今、組織の存亡を賭けて、まさに全組合員が一致団結した闘いに決起した。

2月10日、刀谷栄治さんは私たちと共に闘うために東海労に加入した。昨年の田川哲史さんに続く加入はその闘いの象徴であり、大きな成果であることを満天下に明らかにする。刀谷さんの決意を我々は、今後の組織展望の旗印として高々と掲げようではないか。

しかし、我々の闘う意思とは裏腹に社会は反動化に拍車をかけている。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から1年が経過した今、欧米からの武器供与の強化は留まるところを知らず、世界的に欧米側と非欧米側との分断が進み、エネルギーや食糧不足が市民生活を圧迫している。岸田政権もこの事態を利用し、改憲と軍事大国化を実現しようと躍起になっている。さらに岸田政権は、経団連の「経労委報告」を大元にした「新しい資本主義の実現」によって産業構造や働くかたちをジョブ型雇用へと転換する動きを加速させている。労働組合を現代版産業報国会とし、権力者の言いなりになる労働者を増やそうとしているのだ。我々は、繰り返される戦争の蛮行に「断固反対」の意志を宣言する。

昨年10月、会社は「業務改革」と「JR東海グループビジョン2032」を打ち出した。JR東日本やJR西日本では、すでに取り組みされている働き方改革や、業務のIT化を軸とした抜本的な業務の見直しを、関連企業をも含めて取り組むというものである。しかし、どこを探しても「リニア」のりの字も見えない、この「業務改革」と「JR東海グループビジョン2032」は、私たちに全てのツケを押し付ける労働条件改悪以外の何ものでもない。まさに今、反対の意思を明確にした労働組合の真価が問われている。

労働者の団結と、東海労組織を強化する闘いは「待ったなし!」である。知力、体力、諦めない力を職場、地域から発揮し、あらゆる組織破壊攻撃を粉砕する。

私たちは、今日までの大きな成果を確認し、全国の労働者と共に組織拡大を目指して闘うものである。そして勝利する。

以上、宣言する。

2023年2月26日
JR東海労新幹線関西地方本部
第28回定期地本委員会